

# 多言語 DB で日本と東南アジアを結ぶ

京都大学東南アジア地域研究研究所 図書室

新聞、雑誌は、その国の社会を映し出す貴重な資料です。この取り組みでは、日本と ASEAN 諸国の図書館員・研究者が機関や国を超えて協力し、東南アジア地域の新聞・雑誌目録データベースを構築し、資料情報を共有するシステムを立ち上げ、相互提携プラットフォームを築こうとしています。

## 東南アジア逐次刊行物総合目録データベース

<https://info.cseas.kyoto-u.ac.jp/db/sealib>



わたしたちは、日本と東南アジアの図書館員・地域研究者が、国や機関を超えて連携する場として、**東南アジア逐次刊行物総合目録データベース**を核とする資料情報共有と発信のシステム構築をめざしています。

ビルマ語 (ミャンマー)



ラオ語



ベトナム語

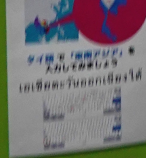


所属図書館 109 機関

日録収録数 (雑誌、資料、新聞) 2,789 点

雑誌所蔵数 5,256 点

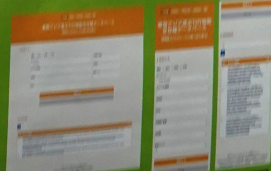
タイ語



クメール語 (カンボジア)



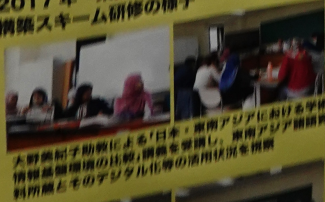
スマホにも対応しています!



デスクトップ画面 スマートフォン画面

館内貸出用 iPad は多言語検索が可能です!

### 2017年「東南アジア逐次刊行物総合目録DB」構築スキーム研修の様子

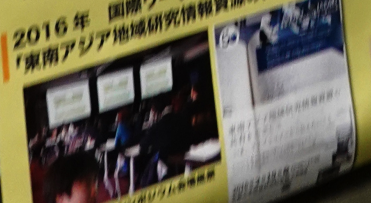


大野英子助教による「日本・東南アジアにおける学術情報基盤環境の比較」講演を要請し、東南アジア諸国資料所蔵とそのデジタル化等の活用状況を構築



本学公助助成による「東南アジア逐次刊行物データベース構築スキーム」を要請し、Web Font 変換多言語データベース構築について研修

### 2016年 国際ワークショップ開催「東南アジア地域研究情報資源の共有をめざして」



### 2018年「東南アジア逐次刊行物総合目録DB」技術の普及活動

